

門司区清見一丁目の道路陥没事故を受けた 下水管の緊急点検結果について

1 道路陥没の原因

- ・平成30年3月27日（火）に門司区清見一丁目で発生した道路陥没事故の原因は、道路下に埋設している下水管のコンクリートが硫化水素により腐食し、損傷した箇所から、土砂が下水管内へ流出し道路陥没が発生したものの。

2 緊急点検の概要

- ・今回の事故と同様な箇所で、硫化水素による腐食のおそれ大きい市内全域の下水管のうち、平成30年度以降に点検を実施する予定であった18.8kmを対象に、目視による簡易的な緊急点検を4月中旬から実施し5月末までに完了した。

3 緊急点検の結果

- ・即時に対策工事が必要な箇所はなかった。
- ・下水管の磨耗や侵食など、腐食の可能性が見受けられたのは3.4kmであった。

4 今後の取組

- ・この3.4kmについて、TVカメラによる詳細調査を進めており、8月末には詳細調査が完了する予定である。
- ・詳細調査の結果に基づき、補強工事等の対策が必要な箇所を検討したうえで、緊急対策を実施する。



緊急点検状況



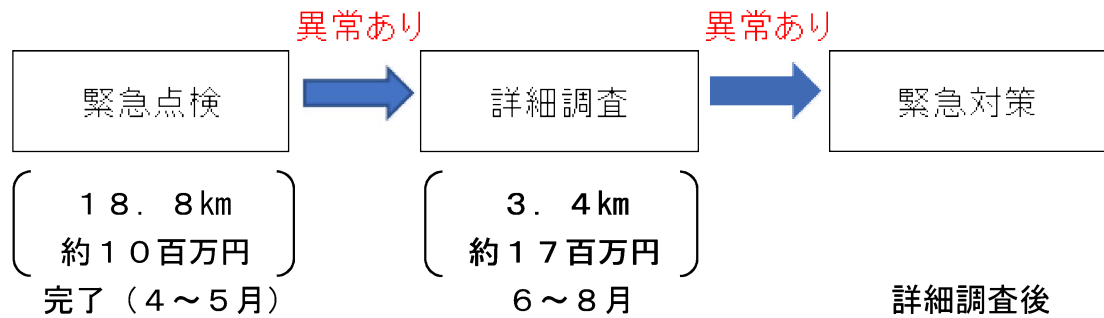
管内状況（マンホールより目視）

下水管の点検方法について

○緊急点検から緊急対策までの流れ

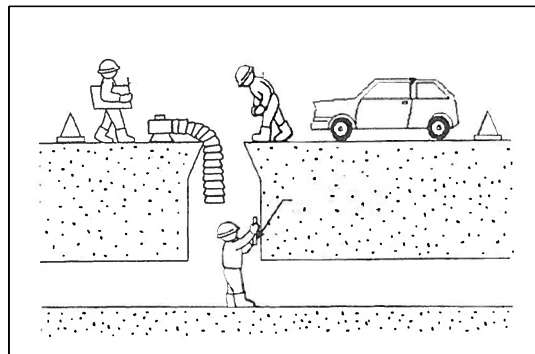
調査対象箇所について緊急点検を行い、必要な箇所は詳細調査を実施する。

詳細調査で異常があった箇所は、緊急対策を実施する。



【緊急点検】

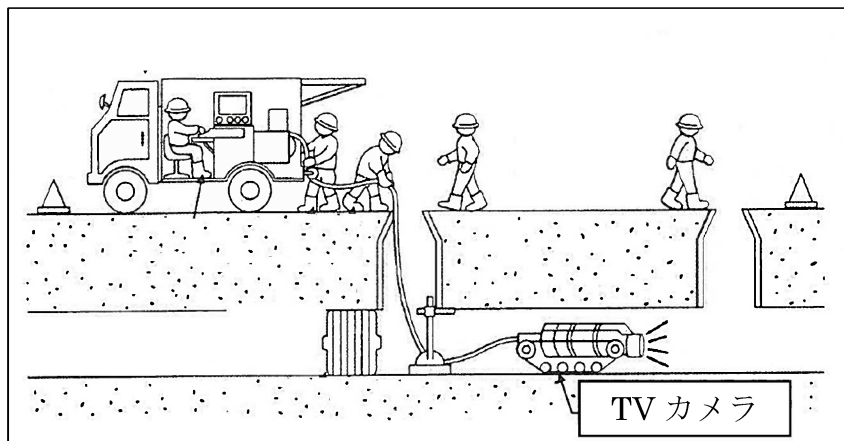
目視調査：マンホール内に入り、内部及び下水管を目視により調査する方法。



目視調査イメージ

【詳細調査】

TVカメラを用いて、腐食、破損、クラックなどの劣化状況、たるみ、堆積物の有無など、詳細状況を把握する調査。



TVカメラ調査イメージ